

花取踊

大谷

毎年10月18日に大谷須賀神社境内で奉納される伝統ある踊りは、450年以上も昔から続いているといわれています。

踊り・祭礼の諸道具・儀式を含めて、高知県の無形民俗文化財に指定されています。



踊り子は、頭に山鳥・孔雀・鶏の尾をあしらったかしらを付け、ふさを巻きつけた棒に太刀を付けたものを持つ美しい姿



ホラガイを吹く音が祭りを盛り上げる



切式踊り
直径25cmの大縄を真剣で切り開く



太鼓打ちは、2kgほどの太鼓を左手に持ち、上下に動かし打ち鳴らす



境内で花取踊が奉納される

すさきの文化財

特別編

生涯学習課 生涯学習係

☎42・8591

太刀踊

多ノ郷

毎年10月20日に多ノ郷賀茂神社で奉納される。太刀踊も、高知県の無形民俗文化財に指定されています。

今年は、小雨まじりの中での祭りになり、踊り子は頭飾りを付けませんでした、華麗な踊りで見る人を魅了しました。



鼻高が行くところ、子どもの泣き声あり



JA土佐くろしお本所での儀式



切式では、3人の踊り子が同時に大縄を断つ



天候の悪い中でも、多くの人が踊りを見守る



16人の踊り子が、伝統の太刀踊に挑む